

平成 27 年 1 月 20 日

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原 1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail…info@yamaki-noen.co.jp
HP address…http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

南半球産 百合球根 需要調査依頼について

平素よりお引き立て頂き誠にありがとうございます。

21 日（水）より、N.Z に出張して参ります。

26 日（月）帰国予定です。

14 年産オランダ産百合欠品調整作業が続く中、15 年産南半球産百合球根については、輸入業者/輸出業者間・球根生産会社/輸出業者間の取引は、昨年の今頃に比べれば静かな様です。（刺激したくない…。）

※14 年産オランダ産では、A.H・L.A は球根生産量が減少しすぎた為、作況との兼ね合いで不足気味となっている様子。（すでに、12 年・13 年・14 年と 3 年連続です。）

※O.H・O.T については、対中国市場への販売状況（受注状況）増加傾向を示している事から、全世界切花市場に対して十分まかなえている・足りているという雰囲気が出ています。

N.Z 産については、EURO 安/N.Z\$ 高の為、EURO で経費決済する N.L オナー農家・輸出業者の経費は EURO ベースで上昇。（ちなみに円安/N.Z\$ 高でもあります…。）

FOB 価（現地港渡し価格）を下げしてほしい！という交渉になる訳ですが、今月いっぱいから 2 月中旬位まで待たないと、価格が決まってくない様です。

C.H 産については、14 年産オランダ産球根（O.H・O.T）が十分にあれば、あえて南半球産を必要としない（オランダ産長期冷蔵球で、例えば、旧正月市場をまかなう…。）という球根消費国が多い為、12/14・14/16 サイズ又は 16/18 サイズ 辺りまでは動きがあるが、18/20 以上はそれほど焦らなくても良いという状況の様です。

但し、品種ごとに状況は違います。

生産量の少ない品種は…。

供給側は当然販売価格を維持したい。（実際原価割れでは、生産継続が出来ません。）

一方、円安、その他経済要因から日本切花市場の事を考えれば、とても前年並みの球根価格では、厳しくなっている事は切花農家皆様自身が実感されている通りです。（あくまでも、一般論。儲かっている人もいますでしょう…。）

景気が良い国が消費するサイズ・消費する品種（例えば、イエロー・コンカール・ペーサ・マロンなど）価格は、上昇する気配すら感じています。

バリアを除く、白系リエンタについては、果たして下げてもらえるのか？極めて不透明な状況です。

少し時間をかけた方が良いのだろうと感じています。

リボン・リアルトの面積は、激減との事。

一方コンパニオは、N.Z産・C.H産合わせて倍増+α…？

今回確認したいのは、A.H・L.Aについてです。

正式な見積もりではなくて、「こんな価格提案だが受け入れてもらえるか？」・「輸出業者も高価すぎるのでは？」と感じている様子。

輸出業者は、すでに2ヶ月近く球根栽培会社との協議を重ねている様ですが、農家からの仕入れ契約には至っていません。

正式な価格表ではありませんが、参考価格として捉えて下さい。

N.Z産は、妥当な価格に見えますが、C.H産は…。

南アメリカ市場向け価格？それにしても厳しい…。

キコは、払えるのか…。

適応為替レートは、まだ確定出来ませんが、1 EURO=¥136・¥138・¥140 で計算してみました。(昨年適応レート¥140)

為替レート…どうなる事やら…頑張りますけど、今年の変動幅は一体どの位になるのでしょうか？

¥130～¥150？

14年産N.L産A.H・L.Aは不足気味…残り少なくなってしまった在庫(1月10日付け発行分)と比較頂き、「これだけは必要だぞ」という球数を、お知らせ頂きたくお願い致します。

価格交渉の余地があるのかどうかはわかりませんが、やってみます。

ご協力お願い致します。

以上

森山 隆